

2021年度（総合型選抜）AO選抜入学試験
生命科学部「科学技術力発掘方式」

【選考講評】

1. 実施状況

(1) 志願者数、合格者数等

学科・学域・専攻等	志願者数	最終合格者数
応用化学科	1	1
生物工学科	2	1
生命情報学科	0	0
生命医科学科	5	5
学部計	8	7

(2) 本入学試験の目的

本入学試験では、次のような者を積極的に評価し、受け入れることを目的とします。

- 高等学校等での課題研究・自主研究等への取組みを通じて、科学技術に関する課題研究・自主研究等の遂行能力、実験結果解析能力、プレゼンテーション能力、考察力、コミュニケーション能力を既に身に付けている。
- 生命科学部の各分野に強い関心を持ち、当該分野の諸課題を追究・解決しようという意欲を持っている。
- 入学後、生命科学部での学びの上に、各分野における興味・関心を大学入学後にさらに発展させようという意欲を持っている。
- 卒業後、生命科学部に関連する分野において、国際的に通用する研究者・技術者になりたいという意欲を備えている。

2. 試験内容

(1) 書類審査

エントリーシート、志望理由書、活動実績報告書

(2) プレゼンテーションと質疑応答

自身の高等学校等で取り組んだ課題研究・自主研究等についてのプレゼンテーション。プレゼンテーションに関する、他者からの質問の応答と、他者のプレゼンテーションに対する質問について。

3. 出題の意図

(1) 書類審査

エントリーシート、志望理由書、活動実績報告書より、高等学校等での学習面の取組みや、志望理由、入学後の展望について確認することを目的としました。活動実績報告書では、高等学校等で取り組んだ課題研究・自主研究等の活動が、理科の基礎的な知識に基づいて論理的な考察がなされているか確認することを目的としました。

(2) プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは、課題研究・自主研究等に関する要約または補足が理科の基礎的な知識に基づいて発表されているか、他者の質問に対する応答の的確性等を評価することを目的としました。

質疑応答では、他者のプレゼンテーションに対する、質問の思考力、的確性を評価することを目的としました。

4. 評価のポイント

(1) 書類審査

エントリーシートと志望理由書より、学習意欲・関心を含め総合的に評価をしました。特に、志望理由では志望学科の分野への関心が高いかをポイントに評価をしました。

(2) プレゼンテーションと質疑応答

プレゼンテーションでは要約、考察が的確かつ論理的になされているかをポイントに置きました。また、他の受験生や教員からの質問に対する応答が、科学的根拠に基づいて的確かつ論理的に説明されているかを評価のポイントに置きました。

質疑応答では、他者のプレゼンテーションに対する傾聴力に加え、柔軟な思考力を有するかをポイントに評価をしました。

5. 解答状況

意欲の高い、よく調べられたプレゼンテーションが行われ、志願者および選考委員の間で、活発な質疑応答がなされました。一方で、基礎的な科学知識やプレゼンテーションの表現について不足していることや、研究や実験の検証方法について選考委員から指摘をした点もありました。

6. 次年度の受験生へのアドバイス

生命科学は総合科学です。研究対象やテーマに応じて、多様な科学の知識を活用します。高等学校等で実施した課題研究や自主研究も探求をしていくと、1つの分野に収まらず、物理学、化学、生物学、農学、工学、医科学、薬学、情報、科学全体に広がっていきます。そのためには、確固とした基礎学力を養い、広い視点から科学を捉えることが大切です。今日、今後の人間社会において生命科学が果たす役割が大変期待されています。是非、生命科学部を志願することを期待します。

以上